

放射線診断科・治療科研修プログラム

I. 研修について

主として指導医の指導のもとに、放射線医学すなわち画像診断、IVR、放射線治療について、診断、検査、治療の実際を習得する。

画像診断においては、診断レポートを作成し、その後指導医のチェックを受けることを繰り返すことにより、読影方法・読影の基礎を学ぶ。IVRにおいては適応疾患を学びつつ、実際の手技を指導医のもとに施行して実体験を行う。

放射線治療においては、悪性腫瘍性疾患患者の診察所見と検査所見に基づき、病期診断および病態の評価を行い、当該患者の治療全般における放射線治療の意義および適応の有無を判断する。その後指導医のチェックを受け、誤りの修正および知識の整理補充を行う。また、実際に治療計画を行い、放射線治療の実際を体験する。

II. 研修の到達目標

画像診断においては、各種疾患に対する検査法について正しく理解し、治療に結びつく診断能力を身につけることを最終目標とする。IVRにおいては、代表疾患に関するIVRの適応範囲を判断し、手技内容・成績・合併症を言える能力を身につけ、基本手技ができるようになる。

放射線治療においては、代表的な疾患の病期診断を習得する。また、各疾患の治療体系の中における放射線治療の位置づけを理解し、実際の症例において放射線治療の適応を判断する思考過程を体験習得する。

III. 診療科情報(医師数・学会認定医・専門医・指導医)

当院HP診療科ページをご参照ください

IV. 施設認定

当院HP病院概要ページをご参照ください

V. 臨床研修指導医講習修了者数

放射線診断科 2 名・放射線治療科 0 名

VI. 1 週間の研修例

《放射線診断科》

	月	火	水	木	金
午前	IVR	画像診断	IVR	IVR	画像診断
午後	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断
その他	肝臓カンファレンス(毎週)・小児科カンファレンス(1回/3週)	消化器カンファレンス(1回/1月)	病理カンファレンス(1回/1月)		呼吸器カンファレンス(隔週)

《放射線治療科》

	月	火	水	木	金
午前	新患診察と治療計画	治療中患者診察	新患診察と治療計画	治療中患者診察	新患診察と治療計画
午後	治療計画	治療計画	治療計画	治療計画	治療計画
その他	肝臓カンファレンス(毎週)				耳鼻科カンファレンス(毎週)・呼吸器カンファレンス(隔週)